

2024年度 通信教育実施計画

教科	地理歴史	科目	地歴教養	単位数：3単位
指導目標 18世紀以来の歴史を、まずは「私たち」の身近なところから問いを作って学ばせる。近代化、(国際秩序の変化や)大衆化、グローバル化という大きなテーマを設定して学ぶこと、そして現代的諸課題から考察を加えることで、幅広い視点から捉えられる力を育成する。				
スクーリング	1単位時間×12回	合格時間数：3時間以上	教科書	無し
レポート	全6通	合格通数：6通	副教材	無し
メディア学習	全6通	合格通数：6通	単位認定試験対策プリント	4通
高校通信講座	あり	講座数：全20回	単位認定試験	12月 ※8月、1月、2月
評価	5段階評定、観点別評価の実施			

	単元・指導項目	指導内容	スクーリング	レポート	メディア学習 確認書		
4月	日本の地形や気候を見てみよう	<ul style="list-style-type: none"> 日本の位置、地形の特徴について学ぶ。 日本の地形特有の自然災害等に理解を示し、確実な知識を身に付ける。 	前期6回	No. 1 No. 2 提出	No. 1 No. 2 提出		
5月	世界のエネルギー・資源を見てみよう	<ul style="list-style-type: none"> 人間が利用しているエネルギー、資源の分布について学ぶ。 電力の生産方法について、国や地域ごとに条件が異なるということについて学ぶ 生活に必要なエネルギー・資源の有限性について学ぶ。 国、個人がエネルギーの安定確保、課題解決のために取り組むべきことについて学ぶ。 					
6月	原始社会の生活と文化	<ul style="list-style-type: none"> 人類が日本列島で生活を営みはじめた経緯や、旧石器文化から縄文文化への変化について、自然環境とのかかわりに着目して考察する。 年表や地図、遺構や遺物といった複数の資料を活用し、資料に基づいて歴史が叙述されていることを確認し、身近な地域における歴史資料の関心を高める。 資料に基づき、黎明期の人々の生活や思想、信仰等について、自ら問いを立て、表現する。 					
7月	大和王権と古墳文化	<ul style="list-style-type: none"> 3世紀後半から6世紀ごろまでの倭国では、前方後円墳を中心にたくさんの古墳が造られたこと、4世紀初めには、大和を中心とする大和王権という王権が成立した過程を学ぶ。 支配のしくみについて理解し、当時の文化の担い手はどのようなものだったか、東アジアの世界の動きも視野に入れて考察する。 				No. 3 No. 4 提出	No. 3 No. 4 提出
8月	復習/単位認定試験※対象者のみ	半期の学習内容の復習を行い、不足部分を補う。					
9月	復習	半期の学習内容の復習					
10月	第一次世界大戦	<ul style="list-style-type: none"> ドイツが東方へむけて積極的な対外政策へと転換し、ヨーロッパの列強間の帝国主義的な利害関係が緊張を増して三国同盟と三国協商の間の対立の構図が生じたことを理解する。 第一次世界大戦は、各国の経済力・技術力が全面的に動員される総力戦であったこと、毒ガスなどの新兵器も投入されたことを知る。 戦後の国際秩序を主導したのは、世界最大の経済大国となったアメリカであることを知り、第二次世界大戦につながる流れを理解する。 	後期6回	No. 5 No. 6 提出	No. 5 No. 6 提出		
11月	第二次世界大戦	<ul style="list-style-type: none"> 第一次世界大戦後のパリ講和会議にて新しい平和の構築が目指されたこと、この流れを受けて、1920年代には、ヨーロッパにおけるヴェルサイユ体制、東アジアのワシントン体制といった国際秩序が形成されたことを理解する。 世界恐慌の勃発から各国に政治混乱が広がり、ナチスやファシスト当などの非民主勢力が台頭した流れを知り、第二次世界大戦とはどのような戦争だったかを考察する。 					
12月・1月	冷戦とその終結	<ul style="list-style-type: none"> 第二次世界大戦後、資本主義陣営と社会主義陣営の二つの勢力が、世界規模で緊張状態を生み出したことを理解し、冷戦がどのように生じ、どのような対立が繰り返されたか学ぶ。また、冷戦後の世界について考察する。 				単位認定試験	
2月	復習	半期の学習内容の復習を行い、不足部分を補う。					

2024年度 通信教育実施計画

教科	公民	科目	公民教養	単位数：3単位
指導目標 現代の諸課題の追求・解決についての学習を通して、人間と社会の在り方についてのさまざまな見方・考え方について学ぶ。その上で、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。				
スクーリング	1単位時間×12回	合格時間数：3時間以上	教科書	数研出版 公共
レポート	全6通	合格通数：6通	副教材	無し
メディア学習	全6通	合格通数：6通	単位認定試験対策プリント	4通
高校通信講座	あり	講座数：全20回	単位認定試験	12月 ※8月、1月、2月
評価	5段階評定、観点別評価の実施			

	単元・指導項目	指導内容	スクーリング	レポート	メディア学習 確認書
4月	公共的な空間をつくる私たち/公共的な空間における人間としての在り方/生き方/公共的な空間における基本的原理	青年期の発達課題を理解し、青年期が人間の社会化のために重要な時期であることを確認するとともに、 青年期は、社会的発達をとげるために、社会のなかで自分の欲求をうまく表現し、実現していくことを身につける時期であることを確認する。 地域社会など集団の一員として生き、他者との協働により、国家などの公共的な空間をつくる存在であることを理解させる。	前期6回	No. 1 No. 2 提出	No. 1 No. 2 提出
5月	民主政治と私たち	民主政治は、国政だけではなく、国際政治や地方自治などさまざまな場で行われることを理解させる。 民主政治に参加するための方法として、選挙が重要であることを理解させ、しくみを説明できるようにさせる。環境・人権・福祉などの分野について、社会の中で問題を発見し、その解決を図るNPOやNGOの役割が大きくなっていることを学ばせる。			
6月	法の働きと私たち	「法とはなにか」について、全体の学習を通して探究させる。また、「契約」や「国民の司法参加」の意味や意義について理解させる。			
7月	経済社会で生きる私たち	一国の経済にはどのような経済主体が関わっているのかを学ばせる。また、経済の発展・成長と金融はどのように関わっているのか追究させる。日本の社会保障制度についても考察させる。		No. 3 No. 4 提出	No. 3 No. 4 提出
8月	復習/単位認定試験※対象者のみ	半期の学習内容の復習を行い、不足部分を補う。			
9月	復習	半期の学習内容の復習			
10月	私たちの職業生活	社会の一員として働くことの意義と労働市場の現状、職業選択の際の条件と選択肢、職業生活の現状とワーク・ライフ・バランスなどについて考察させる。労働者の権利、現代の雇用・労働問題、働きやすい労働環境について学ばせる。	後期6回	No. 5 No. 6 提出	No. 5 No. 6 提出
11月	国際社会のなかで生きる私たち	暮らしに関わる経済や環境の問題を取り上げ、国際社会のルールの意味について考察させる。また、被爆国である日本が、国際社会から核兵器をなくしていくうえで、どのような努力をすべきか考察させる。解決困難な世界的課題に対して、何ができるかを具体的に検討させる。また、グローバル化する国際経済についても知識を深め、探求させる。			
12月・1月	持続可能な社会づくりに参画するために	選挙や消費者問題など生活に身近な内容から、当事者意識を持たせ、考察させる。自ら課題を設定させ、課題解決へ向けての知識を身につけさせる。SDGsとは何か理解させ、内容を説明できるようにさせる。またSDGsのそれぞれの内容を取り上げ、持続可能な社会づくりに参画するために何ができるのか考察させる。			
2月	復習	半期の学習内容の復習を行い、不足部分を補う。			